



夏がやってきました



日本では8月15日が敗戦、ポツダム宣言受諾の発表をもって第二次世界大戦が終わったと記憶しています。欧州ではナチス・ドイツが無条件降伏文書の批准文書に調印した1945年5月8日深夜をもって戦争は終わりました。時差の関係から8日もしくは9日に対独戦勝記念式典や追悼行事が歓喜と感謝をもって実施されています。今年には戦争終結80周年です。

英・仏では今年も5月8日に記念式典や礼拝が行われました。ロシアでは9日に赤の広場で記念式典と軍事パレードが行われました。今のロシアはソ連邦ではないですが、ナチズムとの闘いの記憶が受け継がれています。日本の敗戦日はアジア諸国の戦勝記念日です。日本が降伏文書に調印した日は9月2日、中国では9月3日が対日戦勝記念日です。モスクワでの式典に招待された習近

平国家主席はプーチン大統領を9月、北京に招待しています。

大戦時、インドシナでは日仏軍が、東南アジアでは日英軍、日蘭軍が、太平洋では日米軍が衝突しました。この中で植民地支配体制は揺らぎ、大戦終結後も諸国民の独立を求める闘争は続きました。今も主権を求める闘いは継続しています。

日本の軍国主義は大戦で敗北したのに台頭してきています。日米同盟を軸にNATO諸国と連携しながらの軍拡と共同訓練がそれを示しています。インド太平洋戦略は先進国グループによるアジア諸国民制覇の道につながっています。

労働大学企画編集委員 **富山 栄子**